

# ARPA・K NEWS LETTER

地域計画・建築研究所



八瀬野外保育センターの「第6回落葉まつり」が行われました。写真は落葉を使った箱庭づくりです。（昭和62年11月）

## アルバック ニュースレター もくじ

・落葉は草木の涅槃の姿である .....	2
・人口第2の市の特産品振興 .....	4
・儲かる農業をめざして .....	5
・東京事務所を開設します .....	6
・アルバック連続セミナー「これからの市街地再開発」から .....	8
・きんきょう ○変身 — 学生アパートが老人アパートへ ○文 .....	9
楽の楽屋裏探訪記 ○レンガ小僧と呼んで下さい ○「旧	
刊新刊書評」に対する著者からの便り ○京都の港	
・旧刊新刊書評「モモ」ミヒャエル・エンデ作 .....	12
・シャーロック・ホームズの調査方法論 .....	13
・お便りをいただきありがとうございます .....	14
・まちかど サンフランシスコの土産店 .....	16

## 落葉は草木の涅槃の姿である

八瀬野外保育センターの「落葉まつり」

内村 雄二

八瀬野外保育センターの「落葉まつり」の目的は、四季を通じて私たちの心をなぐさめてくれた自然「土と緑」に感謝することにあります。

「落葉まつり」は、昨年11月28日に第6回目を数えました。その時の案内状は、以下のようないきなもので、まつりのプログラムは案内をいただくものに、できるだけ楽しんでもらおうという気配りいっぱいの内容でした。

「落葉まつり」のプログラムは、参加者の五感に訴えるもので、その体験を通じて人間の自然に対する感性を自然に呼戻させます。

「箱庭づくり」は、落葉を使った盆栽のよ

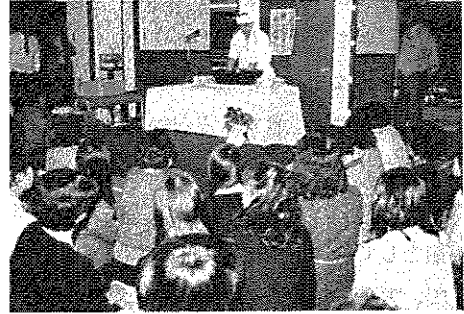
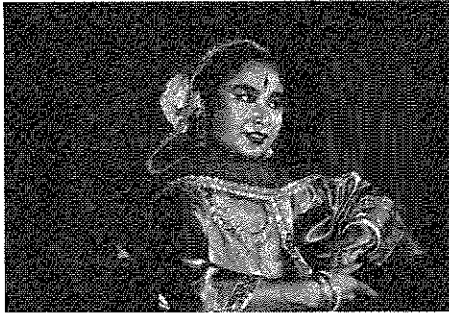
うなもので、DIY式で自分の好きな庭を製作するものです。プログラムに「木ばさみ、エプロンを持参して下さい」とあるのは、その為です。(写真左上)

「インド舞踊」は、日印混血舞踊家のシャクティ・チャクラワルさんによるものです。彼女は、米國コロンビア大学でインド哲学を専攻し、マーサグラハムやアルピン・エイリーから現代舞踊を、ルイジからジャズを学んだ本格的な舞踊家で、“動く彫刻”、“踊るフェニックス”と呼ばれています。(写真左下)

コンサートは、バイオリニストの岩淵龍太郎先生(京都芸大教授、元N響コンサートマ

「落葉は草木の涅槃の姿である」は、センターの顧問で、植物学者でもある伊佐義明先生の言葉です。





〔左上〕：DIY方式で行う「箱庭づくり」の風景。〔左下〕：シャクティ・チャクラワルさんのインド舞踊（シャクティはサンスクリット語で「生命力・創造力」の意）。〔右上〕：岩淵先生達の弦楽六重奏（ブラームスとシューンベルグ）演奏風景。〔右下〕：典座（てんぞ）料理“そばづくし”のそば打ちの様子。

スター、毎日音楽賞等多数受賞、チェコ・ブラハの春音楽コンクール審査等多数）他5名の音楽家による弦楽六重奏で、ブラームスの第一番及びシューンベルグの浄夜が披露されました。

岩淵先生の演奏は、第1回の落葉まつりから毎日続けられており、まつりのメインイベントです。クラシックのことは良く分かりませんが、第1回目は西洋音楽の多声的構造というものを私達に理解してもらうために、ベートベンからドボルザークまで数々の合奏形態のものを、第2回目では第1回と対比する意味でハイドンやチャイコフスキー等の独奏的なもの……、といった具合に1回毎にプログラムに工夫されています。（写真右上）

まつりのフィニッシュは、“落葉のパーティ”です。永平寺じこみの内海一乗氏とご友

人の雲水さん達による精進料理で、今回は“そばづくし”というそばを使った様々の料理が出され、恒例になってきた木の实や草花（センターのまわりでとれる）の健康酒といっしょに、おいしく頂きました。（写真右下）

おわりに — 今年も、また…… —

「落葉まつり」の一日は、以上のような思いやりというか気配りいっぱいのプログラムにより、まつりが終わる頃、それとなく心がなごみます。落葉の香りとおいしい空気の中で、たくさんの人達とのコミュニケーション（保母さんが多いので楽しい！）等を通し、このまつりの文化性の高さに気づきます。

今年も「落葉まつり」があると思います。もし、興味のある方は、センターに一度問い合わせ下さい。（八瀬野外保育センター、京都市左京区八瀬野瀬町200 TEL(075)791-1117(うちむらゆうじ)

## 人口第2の市の特産品振興

— 福岡県山田市での取り組み —

（株）九州地域計画研究所 山田 龍男

### 人口第2位になるまでの経緯

人口第2の市といっても上からではなく、下からの話です。山田市といってもご存じのない方もおられると思いますので、ここで簡単に紹介させていただきます。

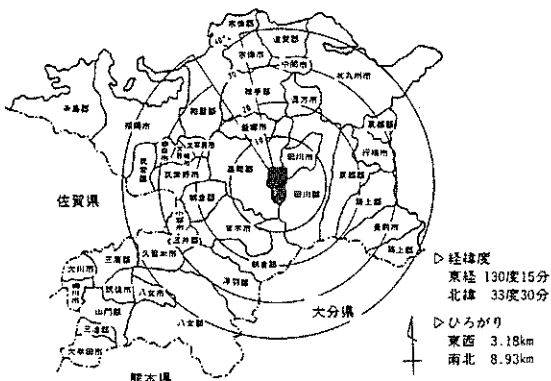
山田市は福岡県のほぼ中央にあり、筑豊地域の最南端に位置する人口約14,200人、市域面積約21.75km<sup>2</sup>、山あいの狭長い形(東西3.18km、南北8.93km)をした街です。山田市は炭都として栄え、全国各地より黒ダイヤを求めて、労働者が流入しており、市の電話帳をひもくと今でも珍しい名字が目につきます。

炭鉱の最盛期には、市域を流れる山田川は澄みきることはない赤黒い水が絶えず流れていましたが、今は、普通の川に戻り、白サギなども飛んできています。

山田市で、ちょっと注目すべきものとしては、明治10年ごろに関西方の横綱となった不知火光五郎関という相撲取りが出ており、昔から祭りなどの相撲大会が盛んです。

山田市は、昭和29年に人口約35,000人の時に市となったわけですが、その後のエネルギー革命により、石炭産業は火が消えたように

### 特産品開発委員会での新製品の試食



山田市の位置

なり、人口流出で昭和36～37年頃全国で一番規模の小さい市となりました。軌を同じくして北海道の産炭地域で同じような道をたどった歌志内市というところがあります。この市は山田市より遅れて昭和40年以降に急激な人口流出がおこり、昭和47年には人口約14,900人(山田市人口15,600人)となり、この年に山田市は第1位の座を歌志内市に譲ることになったのです。

山田市は他の産炭地域と同じように人口の流出を防ぐため、昭和35年以降積極的に工場誘致をおこない数社の工場が進出しましたが、大きな雇用の場にはなっていないようで、若者は働く場を求めて、外に出ていっている状況です。しかしながら、鉱害復旧事業等による基盤整備や生活環境の整備により、街は新しく住みよい街へと徐々に転換しておりますので、若者が定着できる雇用の場を地域内に少しずつでも創っていくことが大切なようです。

### 特産品開発に取組む

そこで、市の産業振興の一環として、今年度、通産省の産炭地域活性化事業の補助を受

け、特産品開発に取り組むことになりました。

当事務所も市の担当課といっしょに事務局としてお手伝いをさせていただいています。

現在、委員会をもって、①山田市の農業活性化の方向、②特産品の開発の方向の2本柱で検討中であります。

山田市は専業農家26戸、農業就業者198人と、その農業の母体は小さいのですが、市の南部においては、盆地の丘陵地であるという土地条件を活かして巨峰、プラム等の栽培を行っており、特にプラムは品質が良いということで、産直なども除々に行っています。

また転作作物として昨年からミョウガの植え付けをおこなっており、この秋ミョウガ(ミョウガは夏と秋の2回の収穫が行われますが、秋ミョウガになると値が下がる。)を活用した漬物加工の特産品として研究していこうということになり、昨年、秋の農業祭りに市内の漬物屋さんに委託して製造したいろいろなミョウガ漬(カス漬、モロミ漬、しょう油漬 etc)を出品し、市民に品定めをしてもらいました。今のところミョウガ漬は一般に食するものとして馴染みが薄いので、①どのような食べ方が適しているか。②新鮮さを保つ方法、③多種類の野菜との組み合わせ等いろいろ研究の余地が残っているようです。

また、委員会においては他地域で生産している数が少ないということで、スモモ加工の可能性も出ていますが、スモモ加工にしても①ワイン、②ジャム、③リキュール、④シロップ漬等、いろいろな試作品をつくり消費者の反応をみていく必要があります。

今、山田市の特産品開発は第1歩を踏み出したところですが、この特産品をきっかけに地域の話題ができ、地域振興のバネになることを期待する次第です。(やまだ たつお)

## 儲る農業をめざして

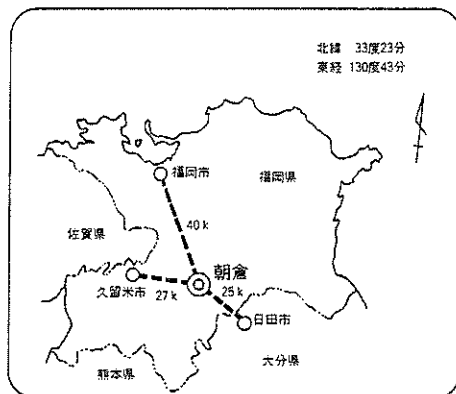
### 高級ブランドイメージを確立した万能ネギ

(株)九州地域計画研究所 山辺 真一

今回紹介する「博多万能ネギ」の産地である朝倉町は、福岡市から車で高速道を走ると1時間程度のところにあります。この町は、「三連水車」があることでも有名ですので、ご存じの方も多と思います。

この町のある筑後地域は、福岡県の穀倉地帯で、藩政時代のころは米麦だけでなく、商業的な農業(い草や茶など)の発達していた地域です。その背景には、財政に窮乏する藩の奨励によって、いろいろな特産品(おもに農産物)を農家が栽培し始めたのがきっかけとなっています。また、これらの商品の移出先は、福岡を中心としたものでした。

またこの地域は、筑後川沿いに広がる肥沃な水田地帯でもあり、福岡県内の水稲作付面積の半分近くを占めており、商業的農業生産



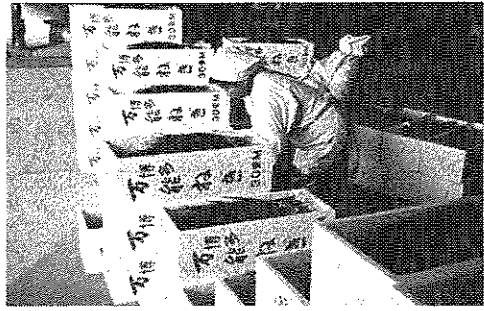
だけでなく、本来の稲作も盛んに行われている複合型の農業地域です。

### 「万能ねぎ」のシーズ

「万能ねぎ」は、白ねぎと違い、ねぎ苗の時に収穫するものです。この地域には、明治32年の頃より、なす苗生産が始まり、昭和3年には、きゅうりの促成栽培、そして、26年には、トンネルハウス栽培が始まっており、苗生産技術やハウス栽培技術が古くから進んだ地域です。特にきゅうり栽培は、24年頃より複数農家の共同出荷が始まっており、「朝倉のきゅうり」（市場には、福岡のきゅうりとして出荷されていたそうですが）は、関東を中心として全国的にもかなりの量とシェアを獲得していたそうです。この頃の経験（共同出荷・安定供給・品質保持・市場での信頼性等）が、今の「万能ねぎ」の生産や販売の中でも十分に生かされています。

### 鶴のマークの「博多万能ねぎ」

「万能ねぎ」は、当初より大消費地である関東をマーケットとするために、すでに市場



出荷前の予冷にまわされる万能ねぎ

に出ている競合商品（あさつき）との競争のため、輸送の問題、関東の食習慣などの問題を解決していく必要がありました。そこで、昭和51年にはじまった試験販売の後、「高鮮度が高価格を保証する」という経験と信念のもとに航空輸送が53年から始められています。

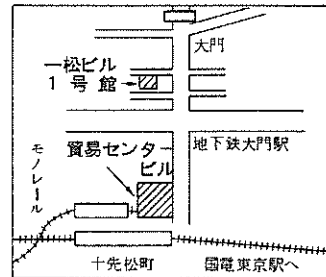
「万能ねぎ」を京浜・京阪神という大消費地に輸送するためには、輸送時間や量の確保も重要ですが、ねぎのような軟弱なものはとくに品質が重視されます。そこで、航空機による輸送に加えて、他の商品と違うということをアピールするために、万能ねぎには、3

## 東京事務所を開設します よろしくお願い致します

東京事務所づくりは、以前からの課題であったのですが、今年2月にやっとスタートすることになりました。

アルパックは、20年前の草創期からなぜか東京出身者が多く、「地域主義」などと以前から言いつづけてきた事務所としては、その里帰りの意味からも課題になっていました。

ささやかな事務所ですスタートしますが、所内最大勢力の東京勢にふさわしい事務所に育つよう努力したいと念じています。よろしくお引立のほどお願いいたします。



場所：東京都港区芝大門2-3-14

一松ビル 1号館 402

Tel：03-437-3405(代)

Fax：03-437-3407

道順：国鉄浜松町から大門の方へ向って  
国道1号線をわたり、2筋目の左側を見ていただくと一本の松があります。そのビルです。



日本航空で空輸しているというイメージを強調した万能ねぎのポスター

つのセールスポイント(①品の良さ、②3種の用途「生でよし、煮てよし、薬味によし」③100g束の小売単位)が考えられました。

航空機輸送は日航のJALCARGOとして、夕方現地より出荷され、翌朝の市場のセリに間に合うという方法が採用されたのですが、それだけでなく、さらに輸送の際に、ねぎ一束ごとに日航の鶴のマークが付けられました。

このことが、「万能ねぎ」の消費地での信頼度をより一層増し、評判が立ち、ねぎの売れ行きは一段とよくなったそうです。

つまり、ねぎの品質自体は、もともと良いものであったのですが、これに加えて、他の商品との差別化のためのブランドづくりによって「万能ねぎ」は一層脚光を浴びることになりました。

#### 農業経営も企業経営と同じ

販売のはじまった頃から、ポスターや広告による宣伝はもとより、ラジオ・テレビのCMまで行われています。

さらに、バーコードの導入やマーケットの拡大のための調査、生産者による市場研究等

が次々と実行されていますが、これらの一連の実践の背景には、指導的立場の人々の「農業経営も企業経営と同じ」という理念があるようです。つまり「攻めの農業経営」とも言い換えることができます。

現在は、「万能ねぎ」の次の商品開発も進められており、「朝倉の柿」(冷凍柿)という商品が市場に出回っており、すでに口にされた方もおられると思います。

ところで地元への経済効果という面で見ますと、商品の高品質を保つためには、選別作業が大事になりますが、この段階で地元の労働力(非農家も含めて)の活用のために「調整作業委託制度」が導入され、パートタイム並の収入が地元の人々に還元されています。地域全体では年間約1億5千万円にもなっています。

#### 農業のアイデンティティ

これまでの農業面の技術は、「体が喜ぶための技術」を主眼とし、進歩改良されてきたと考えられますが、朝倉町のように、これからの農業技術には、消費者の体だけでなく、「頭にも喜びを与えてくれるような技術」も必要になって来ているのではないのでしょうか。

また、地域特産品づくりにもみられるように、その地域の独自性(アイデンティティ)を持ったもの、他の地域にはない地域のブランドづくりが大切になっていますが、市場の競争の中では、次々に新しいことを行っていくことが必要になっています。食品としての商品の基本(品質)は揃えておくのは当然のことでしょうが、その上で他の商品とはここがこう違うということをアピールすることや消費者がどういう商品を望んでいるかということまで考えて農産物を生産供給して行かなければならない時代になっているようです。

(やまべ しんいち)

## 「これからの市街地再開発」から

宮地 謙一氏講演会から

昨年の11月28日講師に建設省都市局都市再開課再開事業対策官の宮地謙一氏をお迎えして「これからの再開発」についてお話しして頂きました。

宮地氏からは、「土地国会」とも言われた前国会討議の方向とそれを受けて検討が進められつつある再開事業関連施策のポイントなど、最新の再開の動きを中心に紹介して頂きました。また「5%補助」をはじめとした新事業、制度の内容や、最近の再開事業の傾向についても触れて頂きましたので、その概略を紹介します。

### 〈都市再開に関する緊急促進事業〉

いわゆる「5%補助」といわれているもので、これまで補助対象とされていなかった部分について5%の補助金をつけて、事業推進を図ろうというものです。補助対象としては、大きく2つあって、1つは再開でこれまで特会・一般会計補助の対象となっている部分以外について5%の補助を与えようというもの。もう一つは、拠点開発で整備される施設のうち公共施設・地区施設・拠点施設について5%の補助を出そうというものです。

### 〈都市再開関連公共施設整備促進事業〉

略して「再開関公」と言われる事業で、昭和53年にはじめられた「住宅関公」と類似の事業です。再開等の促進のために、関連して整備が必要となる地区外の公共施設を先行的、集中的に整備していこうというもの。

### 〈都市活力再生拠点整備事業〉

いわゆる「リジューム計画」と呼ばれているもの。全国で18ヶ所で調査がはじめられて

いるようですが、マスタープランづくりといってもよい内容のもので、マスタープランが認可された区域における協調建替えについては補助を与えようというものです。昭和59年度に創設された「地区再開促進事業」の拡大措置です。

### 〈NTT関係法令による無利子融資〉

昭和62年8月に成立した「NTT株式売却収入の活用による社会資本整備特別措置法」による措置で、3つの型が考えられています。A型というのは、公共団体の行わない公共事業に対するもので、「開発利益吸収型公共事業」、B型は、公共事業に対して、補助金を出す代わりに融資をしようというもので、返済時に補助金に切り替えていく「つなぎ融資」の性格を持っています。最後のC型は第3セクター等に対して、開銀等を通じて融資をするものです。

宮地氏は、その他民間都市開発推進機構による低利融資についても触れられましたが、この制度の背景について、「最近の地価高騰は床不足から来ている。区画整理や再開を増やして床を増やせ。」と呼ばれています。法定事業は、都市計画決定までに早く4～5年、完成までにさらに8～9年がかかります。しかし、法律はそう簡単に変えられるものではなく、「合意形成が早くできる方法を色々探っている段階」と説明されました。

講演後、参加の方々より、事業の採算性、再開事業初動期の対策、信託制度の活用などについて活発な質問が出されました。

講師をお願いした宮地先生には、お忙しい中誠にありがとうございました。紙面をかりてお礼申し上げます。

(編アルバックセミナー事務局)



## 変身 — 学生アパートが 老人アパートへ —

松島 茂木

学生アパートの「老人アパート化」が進んでいます。京都市の左京区は、京大・同志社大などの大学があり、昔から学生アパートの多い地域ですが、近年大学移転に伴い学生が減少したり、マンション志向などによって空室が増大してきています。一方、高齢者にとっては、家賃が高くまた、毎年の更新料が大きな負担となることから、なかなか適切なアパートは見つかりません。

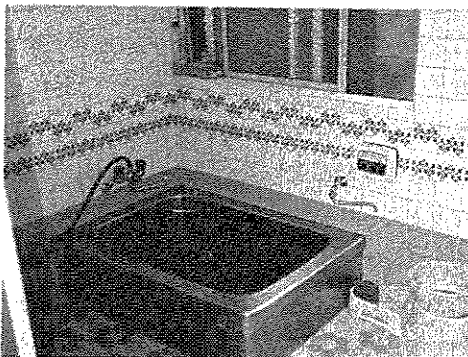
こうしたことから、学生下宿組合が中心になり、アパートの経営安定と高齢者の居住安定と両立させるために学生アパートの「老人アパート化」が進められつつあるわけです。

「老人アパート化」のポイントは、次の点にあります。

### 入居システム

入居の決定権は家主にあります。福祉事務所、生健会、家主の連携による入居システムが形づくられています。福祉事務所は生活保護措置とケースワーカー、ヘルパーの派遣、生健会は入居あっせんと身元保証、家主は低家賃・更新料なしでの受け入

### 風呂も落込み型として老人向きに改造



れ、という役割分担です。

### アパートの老人向改造

避難階段、風呂の設置、2戸1化等、学生下宿組合で研究をすすめています。助成がないとその実現は難しいようです。実験的に改造した例では浴そうの落とし込み、段差解消、すべり止めのほか、20人収容の共同食堂、防音壁をもつホールも設置されています。将来はトレーニング・リハビリ場などの設置も想定されています。

(まつしま しげき)

## 文楽の楽屋裏探訪記

松尾 光洋

先日、大阪事務所を中心に文楽を観に行く会を催し、内外に広く参加者を募りましたところ、予想以上に多くの方(23名)からご参加いただきました。

ほとんどの方が文楽は初めてでした。当日は、人形遣いの方に、人形の操り方を説明していただく機会に恵まれました。私も文楽は初めてでしたので、たいへん興味深く、その模様をご報告いたします。

ご存知かとは思いますが、文楽は、浄瑠璃(義太夫)を語る「大夫」と、その伴奏をする「三味線弾き」と、それに合わせて人形を操る「人形遣い」との三者のチームワークによって演じられる人形劇、いわゆる人形浄瑠璃で、日本が世界に誇る伝統芸能です。

人形は、「三人遣(づか)い」といって一つの人形を三人で操作しますが、これは世界の人形劇の中でも文楽だけだそうです。

三人遣いのリーダーは「主遣(おもづか)い」と呼ばれ、人形の首(かしら)を左手で操り、右手で人形の右手を操ります。あとの二人は持ち場によって「左遣い」「足遣い」と呼ば

れ、主遣いが操る人形の動きに合わせて、左遣いは後方左側から左手を操り、後方下側から足遣いが足を操るわけです。主遣いは左遣いと足遣いに人形の動きで合図を送り、それに合わせることによって、はじめて人形が一体的な動きを見せるのです。

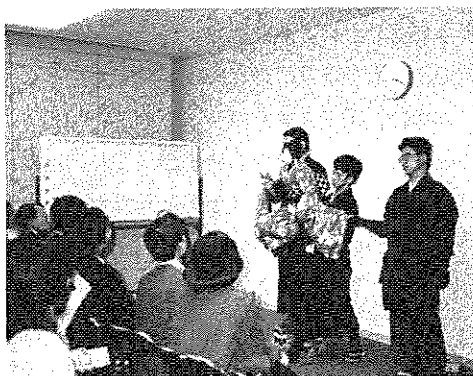
足遣いは若いときにしか出来ず、人形遣いはまず足遣いから修業することになるそうです。通常、小道具三年、足遣い三年、左遣い三年で駆出しの主遣いと言われていますが、足遣いとして一人前になるには十年かかるということです。

このように、複雑な連携プレイによって操られているのがわかりますと、実際に文楽を観るときには、人形の動きだけでなく、人形遣いたちの動きに注目するのもおもしろいと思います。

さて、実際に客席についてみますと、土曜日の午後ということもあってか、ほぼ満席でした。案外若い人たちが観にきているのには少々驚きました。ひょっとしたら、文楽は、ミナミのデートコースとして、最もあたらしいかも知れません。

浄瑠璃は、よく聴かないと何を言っているのか聞き取り難いのですが、慣れの問題かも知れません。床本といって、浄瑠璃の台本が

三人遣いの実際を眼の前で実演してもらいました

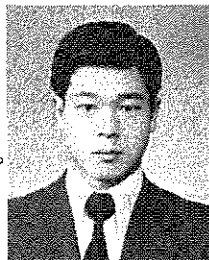


売られていますので、これを見ながら観賞しますと、初めての人でも、話の筋がよくわかります。慣れてくるとむしろ浄瑠璃を聴く楽しみが出てきそうです。(まつおみつひろ)

## レンガ小憎と呼んで下さい

名古屋事務所 水野 信太郎

はじめて御挨拶を申し上げます。私はこれまで主として建築の歴史的な勉強をしてまいりました。特に日本近代(幕末明治以降)の様式建築に用いられた洋瓦、天然スレート、煉瓦、タイル、石材、ガラスなどの素材の国産化過程を主題してきました。例えば煉瓦ですと、大きさ(より小ぶりな日本化した品が後世)、色あい(焼成温度が高いほど赤紫色が強い。窯と燃料の変遷に関係)、肌あい(手づくりと機械製の違い)、刻印(会社印や職人の符牒)などに着眼しますと、その煉瓦が製造された年代を概ね知ることができます。煉瓦に限らずタイルも石材もガラスも、それぞれに注目すべき点があります。



また、このようなテーマとは別に、もう少し身近で一般的な対象である「まちなみ」にも心惹かれます。今日、歴史的な環境の有効活用は、単に都市計画家・建築家・建築史家などの専門家や専門技術者たちだけの問題でなく、広く社会的な関心事となっています。私も近世近代住宅史の視点から幾箇所かのまちなみを、時に浅く広く、あるいは逆に数少なくとも一棟一棟を丹念に見る機会に恵まれました。とりわけ手漉き和紙の故郷、岐阜県美濃市へは実測復原調査のため続けて6夏季通いました。各戸にお許しをいただき、柱や

梁に残されている<sup>ほぞ</sup>納穴などの仕口跡を余さず確認します。<sup>のみ</sup>鑿が切れていれば当初ほり、仕事きたなければ増改築時の後補であることが読みとれます。このような判断を積み上げて、はじめて民家や町家群の復原ができます。個々はまさに名もない無言の町家に過ぎませんが、彼らに自らの生い立ちを語らせるのは魅力ある仕事です。そして、このような取組もこれからの「まちづくり」に必要なことと思えます。

これから新たに名古屋事務所で微力を尽くしますので今後とも何卒宜しく願います。  
(みずの しんたろう)

### 「旧刊新刊書評」に対する

#### 著者からの便り

27号に「岐路に立つ都市再開」の書評をのせましたところ、著者から次のような便りをいただきました。このニュースにのせる前に、当所の大阪事務所「Qの会」の方々、著者をまじえて勉強会を行っています。

新年 おめでとうございます。

昨年は、Qの会の研究会に出席させていただき、大変勉強になりました。今年もよろしく願ひ致します。

さて、年明け早々、アルパックニュースレター新春号を送っていただき有難うございました。

我々の「岐路に立つ都市再開」を書評にとりあげいただき、大変光栄です。御指摘のように、住宅建設の問題についての検討が不足していることは、学者の研究会で発表したときにも言われており、我々もとくにアベノの場合などは住宅の問題について更に突っこんでいく必要性を感じていたところです。

現在は、我々3人でまた第2弾を何とか企

画しようとしています。テーマは土地問題を中心とした都市づくりになると思いますが、弁護士が書く以上、それなりに興味ある切り口をみつけなければ……と考えて検討中です。

今年も本来の弁護士業務とは別に、クラブ活動として、是非このテーマを追ってみたいと考えていますので、Qの会をはじめいろいろな研究会の御案内があれば、是非教えていただき、時間の都合のつく限り出席させていただきたいと思っています。いろいろな出来事が今年も予想され、激動の年になりそうですが、今年もよろしく御指導下さい。まずは乱文・乱筆ながら御礼まで。

(弁護士 坂和 章平)

### 京都の「港」

伊坂 善明

内陸都市京都にも港があります。

この港は、坂本龍馬で有名な寺田屋のある伏見港です。

伏見港は、豊臣秀吉の時代に城下町の中に造られたものです。伏見城が廃城になった後も高瀬川の開削によって京都市中と結ばれることによって、「港町」として発展します。調べて見ると、当時日本で最大規模の内陸港であったようです。

明治以降は、鉄道の発達によって人・物の流れが移りかわってしまいますが、琵琶湖疏水とつながれたり、あるいは戦時体制の時代などには、重要な役割を果たした時期もあります。今日、すでに港の機能はなくなってしまっていますが、それでも運輸省の管轄になる「港湾区域」の指定は残っています。

残った水路を見て、船や人、荷物の動きが活発だった時代を思い描いたりしています。

(いさか よしあき)

旧刊新刊書評

時間どろぼうと、ぬすまれた時間を人間に  
とりかえてくれた女の子のふしぎな物語

モモ

ミヒヤエル・エンデ作/大島かおり訳 岩波書店刊 大河内雅司

今回紹介します「モモ」という作品は、ジャンルでいえば児童文学にあたるのか、小学校5・6年以上という年齢の設定になっています。ただし、発表後の15年間に30ヶ国語に翻訳され、西ドイツの読書界のベストセラーの一冊になるなど、児童文学でありながら、大人の読者の支持がとても高い作品です。

ニュースレターで児童書の書評は珍しいと思いますが、大人にこそ読んで欲しい一冊として紹介します。

この作品の中心テーマは「時間」です。それは機械的に測ることのできるものではなく、人の心の中にあり、それゆえに人が人らしく生きることを可能にするものだと言われています。

現代社会は、とても忙しいようで、あわただしさの中で、だれもがストレスに追われています。私達は、忙しい忙しいと時間をケチケチしていますが、ほんとうは別のなにかをケチケチしていることに気付かない時があります。本当の意味での生きるということを奪われているということなのではないでしょうか、ふと気付くととても空しい気持ちになっている時があります。

物語は「モモ」という不思議な女の子を中心に、彼女に関わる人々がその心に真の時間を取り戻していく過程を描いているのですが、灰色の男なる登場人物に込められたテクノロジー批判をはじめ、そこには、たくさんの社会的なメッセージがちりばめられています。

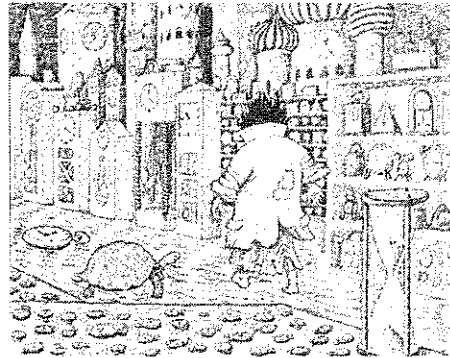
楽しいと思うこと、夢中になること、夢見



時間どろぼうと ぬすまれた時間を人間に  
とりかえてくれた女の子のふしぎな物語

モモ

ミヒヤエル・エンデ作 大島かおり訳



ること。忙しさの中で大切なことを忘れていませんか。時間とは生活であり、いのちであり、さらにそれは人の心の中にあるのです。忙しさの中にあって、「モモ」という女の子は、私達に大切なことを気付かせてくれます。

この物語をとおして、自分自身を忘れ、そして物語の中に自分自身をみつけだす。忘れることと、発見することの繰り返しの中で、心の時間というものを考えてみる機会になればと思います。

なお、思想的な深読みをしたい方には、「モモを読む(シュタイナーの世界観を地下水にして)、子安美知子、学陽書房」をおすすめします。(おおこうち まさし)

## シャーロック・ホームズの調査方法論

糸乗 貞喜

### 殺人現場には急いではいない!!

殺人事件の現場、ローリストン・ガーデン3番地に、シャーロック・ホームズがワトソンと一緒に馬車で駆けつけたとき、ホームズは100ヤード余も手前で馬車をとめた、「彼がどうしてもおりようというので、私たちはそれから歩いてゆくことになった。」

この小説はワトソンの独白リポートの形で進むのであるが、「私は、シャーロック・ホームズがすぐ家の中へ駆け込んで、事件の調査を始めるものと思っていた。ところが彼はそんな気配をすこしも見せないであった。彼は、私などから見るとこの場合としては、気取りすぎていると考えたくなるような冷然たる態度で道路を行ったりきたりすると、地面や空や向かいがわの家並みや、また棚などを、ぼんやりながめはじめた。その観察が終ると、こんどは、家へ通じる小道の、なるだけ緑の草のうえを歩いてゆきながら、その地面に強く眼をそそぐのであった」というところが、この探偵物語のベースとなっている。

### 探偵と現場監督

このくだりを読んで、思い当ることがあった。それは20年余り前の私の体験である。20年余り以前には、私は小さな建設会社でいろんなことをしていた。そこではもちろん現場監督の仕事もあった。現場に行くには、たいがい自動車を自分で運転していくので、現場の車置場へ入って自分の自動車をおり、それから現場を見てまわったり、職員への指示をしたりすることになる。そうしていたときに

注意されたことがあった。

「現場へは、すぐ入ってはいかん。ずっと手前でおいて(クルマを)、ゆっくり見ながら近づいていかんと、肝腎なところを見落すぞ」といわれた。たとえクルマで現場へ直接入っても、一端外へ出て少しはなれたところまでもどり、外をゆっくりひとまわりして現場を見ながら入れ、というわけであった。「緋色の研究」の前記のくだりを読んだとき、このことと思いだしたのである。

### 方法と方法論

殺人の行われた建物・部屋に入ったあとは、「天才とは無限に労苦しうる能力をいうそうだ」などといいながら、床の埃を集めて封筒に入れたり、痕跡と痕跡との間隔をきわめて細心に測ったりする。つまりホームズは、探偵として必要な「調査方法」も立派に身につけている。

しかし、「100ヤード余も手前で馬車をおりる」という態度は、方法の問題ではなく、対象にどのようにせまるか——対象を調べるための方法についての認識論・考え方を示すものであり、方法論を意味していると思える。このことはホームズが雑誌に「人生の書」という題で、観察と分析について述べていることからわかる。

それらはさておき私にとって意外なのは、これほどしっかりした認識論をもつホームズが、ワトソンの分析によると「哲学の知識ゼロ」とされていることである。ホームズの学力は12項目に整理されているが、極めてアン

## お便りをいただきありがとうございます。

前回ニューズレターにはがきを同封しましたところ、たくさんのご返信をいただきました。レターをお送りした方には住所を変更された方もいらっしゃいますので前回から名簿を整理させていただいております。今回も返信用のはがきを同封いたしておりますので、誠に恐縮ですが確認のため返信はがきを御投函下さるようお願い申し上げます。

前回のはがきによるお便りで、心強い激励のことばをいただいております。紙面の関係上全て掲載させていただけないのが残念ですが、一部お便りをご紹介します。

○懐しい人の名前を見えています。(大阪市、岡 正一)

○毎号、面白く拝見しています。御礼申し上げます。(堺市、川島 哲郎)

○いつも礼状も出さず失礼しております。有難とう存じます。(京都市、北村 貞太郎)

○毎月ホットな気分で読ませてもらっています。その地、その場での“コト起し”のトリガーの役割をめざされるよう希望します。(枚方市、米谷 富男)

○いつも楽しく、精力的な活動報告を読ましてもらっています。毎夏の休みに、ドライブ旅行していますが、行先の決定に、「ニューズレター」の記事が大きい影響を与えておりま

す。昨年は“美方町”“湯村”でした。

(大阪市、澤 直)

○ARPA・K NEWS LETTER創刊5周年を心より慶祝申し上げます。併せて、これまでのたゆまぬご工夫とご尽力に対し衷心より敬意を表します。感謝いたしますと共に更なるご発展を祈念して止みません。(京都市、沢田 敏男)

○県庁を退職し、情報量が稀薄化する中でアルパックニューズレターは生きた情報の摂取源の一つとして毎月を待ち通しくしております。研究員の皆様のご苦勞に心からお礼申し上げます。(神戸市、清水 孝保)

○いつもたのしいニュースをありがとうございます

バランスで、「バイオリンにたくみ」ということが特異な才能をして上っている。

### 音楽論と水割りの話

以下は駄足であるが、ホームズが音楽会から帰ってきてワトスンに言う話が面白い。「君は音楽についてダーウィンが言ったことばをおぼえていますか。彼の説によると、音楽をつくりだしたり鑑賞したりする力は、言語能力よりずっと古くから人類にそなわっていたという、ぼくたちが音楽をきいて、いいような感動をうけるのは、きっとそのためだろうね。われわれの魂のなかには、世界の幼

年期の、霧につつまれたような日々の、おぼろげな思い出が生きているのだ」……「それはまた、すこし漠然とした考え方だな」とワトスンが反発すると、ホームズが「自然を解釈しようと思えば、人間の頭も自然ぐらい漠然たるものにならなければできない」という。これも正に音楽鑑賞方法論であると思う。ダーウィンが言ったことばというのが本当だろうかという気はするが。

駄足をもうひとつ。スコットランドヤードきっての機敏な男グレッグスンから捜査の状況をホームズが聞くところがあるが、「そこ

います。自由時間都市の時代に焦点を合せた御活躍を、より一層期待しています。(春日井市、つばた しゅういち)

○第1号から送っていただいているので、大切に保管しています。小冊子であっても意欲的に取組まれており、充実してきていると思います。(神戸市、日野 博彦)

○いつも興味深く読ませていただいています。しかし、あたりさわりのないことが多く、ちょっとものたりません。もっと刺激的な意見ものせて下さい。(小山市、藤田 忍)

○毎号、大変興味深く読ませて頂いています。頁数も丁度手頃で読みやすく、ずっと続けて頂きたいです。(京都市、堀内 三郎)

○いつも興味深い記事文章が多く、感心しています。とくに“まちかど”は面白い。他に今号(1/1)では江戸村の記事、「つかしん」講演の紹介が面白かった。(武蔵村山市、本多 昭一)

○大変密度の濃い中味を素朴に又、専門的に、しかも簡潔にまとめられており敬服しています。首都圏問題がないのは少し残念ですが、首都圏一点集中とそれ以外とのかかわりを東

京の周りからアプローチ 摘発して下さい。

(東京都、溝畑 直利)

○いつも、書いた方の顔がみえるような論考報告、あいさつなどを読ませていただき有難うございます。№27もじっくり読ませていただきました。今、多摩ニュータウンでは若い女性に“素敵”といわれるまちは何かを考え始めています。が男ばかりで果してできるのか。(東京都、御船 哲)

○何時も新鮮な記事を拝見させていただいています。レストランもお陰様で大変順調に運営されています。ありがとうございます。一層の御発展とお祈り申し上げます。(温泉町、村尾 保一)

○特産品、自慢のみやげもの・うまいもの通信面白く拝見しています。(京都市、毛利 正光)

○ARPA・K NEWS LETTER お送りくださりありがとうございます。医者の世界と又違う分野の情報が得られて大変勉強になります。今後ともよろしくお願い致します。(大津市、森井 文義)

までの苦心談をぜひ聞かせていただきたいですな、水で割ったウイスキーでもどうぞ」とホームズがいい「けっこうでしょうな」と刑事が応じるくだりがある。

私は、どこやらで小耳にはさんだところによると、「水割」は日本の発明であって、スコッチの本場ではそんなことはしないんだ、ということだったように思う。もちろん今では水割もやるが昔はやらなかったという話であったように思う。ところがこの「緋色の研究」は、1886年に執筆されている。100年以上前にグレグスン刑事が「水割り」を飲んでいる。

以上駄足2点。「ダーウインの音楽論はコナン・ドイルの創作なのか、ダーウインの言ったことなのか」と「水割は昔からイギリスで普通の飲み物であったのか」について、御教示いただきたいものと思います。

※1月6日がシャーロック・ホームズの誕生日ということで、今年で134才です。

コナン・ドイル著、阿部知二訳、創元推理文庫 (いとりの さだよし)

## まちかど

### サンフランシスコの土産店

糸乗 貞喜

あまりさえない風景である。まず日本人しか出入りしないサンフランシスコの土産店。

推名誠の「インドでわしも考えた」には、インド政府観光局の課長さんが出てくる。課長さんは推名さん一行をなんとか土産店に入れて、店員の包囲網によって買物をさせ、インドの国益を増加させようとする。この両者の面白くない風景を書いている。

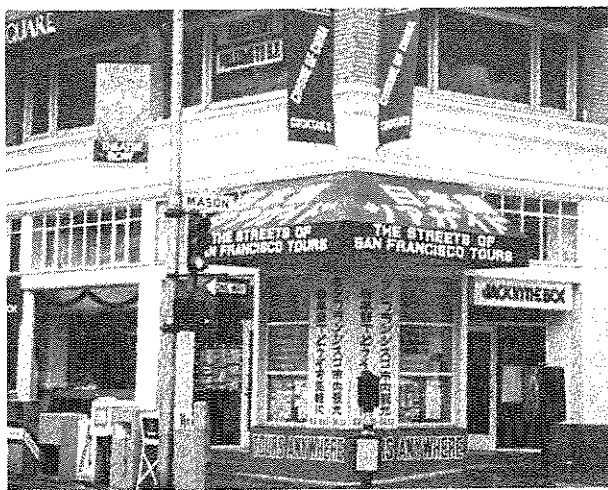
ところが、この写真の土産店には、表の道路に日本青年がいて、カンによって日本人を見わけ呼びこむ。店内に日本の写真週刊誌があった。そこにアメリカでは、「日本人相手の土産物店は閉鎖的な営業をしている。これは国営に反する」というようなことで問題になっている——と書かれていた。

(いとりの さだよし)

日本人専門の免税店



街かどの日本人専門のガイド広告



## ARPA・K (株)地域計画・建築研究所

ARCHITECTS, REGIONAL PLANNERS & ASSOCIATES, KYOTO

本社	〒600	京都市下京区四条通り高倉西入立売西町82 (大和銀行京都ビル8階)	TEL(075)221-5132(代)
京都事務所	〒540	大阪市東区石町1丁目1番地 (天満橋千代田ビル2号館)	TEL(06)942-5732(代)
大阪事務所	〒460	名古屋市中区丸の内3丁目18番30号 (ツボウチビル6階)	TEL(052)962-1224
名古屋事務所	〒105	東京都港区芝大門2-3-14 (一松ビル1号館402)	TEL(03)437-3405(代)
東京事務所	〒810	福岡市中央区天神1丁目15番1号 (日之出ビル6階)	TEL(092)731-7671
九州地域計画研究所			